

「2003年4月から2011年10月までに 川崎医科大学附属病院で 胃癌と診断され治療を受けられた患者さんへのお知らせ」

「川崎医科大学における早期胃噴門部癌に対するLES/神経温存噴門部分切除手術の臨床成績の検証」に関する研究について

当教室では、2003年4月より2011年10月までに、川崎医科大学附属病院で食道癌と診断され治療を受けられた患者さんについて、診断時の検査成績と手術標本の結果がその後の治療経過にどう影響するかをさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、食道癌の予後に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は手術標本を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。本研究におけるすべての研究者において、研究は個人研究費で行いますので利益相反はありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

川崎医科大学附属病院

消化器外科

担当者:松本 英男

e-mail:h-matsu@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-462-1111(内線 44499) FAX:086-462-1199